



No.221

令和8年2月1日発行

滑川市議会

☎ (076) 475-2120

E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校2年生
高畠音弥さんの作品)



新たな15人の市民の代表

令和7年12月定例会一覧

○議案の審議結果		○委員会										開会		閉会	
合計	17件	その他(原案可決)	3件	予算(原案可決)	5件	条例(原案可決)	9件	9・19・23日	18・23日	17・23日	議会運営委員会	23日	16日	12月9日	12月23日
											総務文教消防委員会	23日	17日	～会期15日間	
											産業厚生建設委員会				
											議員定数等検討特別委員会				
												議案の委員会付託			
												委員長報告・質疑・討論・採決			
												提案理由説明・補足説明・質疑			
												議案の委員会付託			
												委員長報告・質疑・討論・採決			
												提案理由説明・補足説明・質疑			
												閉会中の継続審査			
												追加提案			

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。



なめりかわ 市議会だより

新たな市民の代表となつた15名の議員を紹介します



1. 吉森 真人 (44)
2. 柳原
3. 魚料理、めん類
4. マラソン、スポーツ観戦(特に大相撲)



1. 藤田 紀子 (71)
2. 荒町
3. 海老天丼
4. 野菜栽培



1. 高橋 悟 (57)
2. 常光寺
3. 塩ふき昆布ごはん
4. 道の駅スタンプラリー

1. 氏名・年齢
2. 住所
3. 好きな食べ物
4. 趣味
(議席番号順)

*令和8年1月1日現在で作成しています。



1. 水橋 真治 (65)
2. 中川原
3. 和食
4. 読書、音楽鑑賞



1. 谷崎 潤一 (55)
2. 領家町
3. お好み焼き
4. 音楽全般



1. 高川 正樹 (53)
2. 下梅沢
3. 昆布じめ
4. スポーツ観戦



1. 安達 真隆 (51)
2. 堀江
3. ラーメン
4. 射撃、スキー



1. 尾崎 照雄 (71)
2. 稲泉新
3. ラーメン
4. 野菜づくり、カラオケ



1. 竹原 正人 (52)
2. 栗山
3. 味の濃くない料理
4. ペットにエサをあげ通じない会話をすること



1. 青山 幸生 (43)
2. 上梅沢
3. 好き嫌いなし
4. 読書、宝塚、ボクシング



1. 大浦 豊貴 (47)
2. 神明町
3. 刺身
4. ゴルフ



1. 古沢 利之 (71)
2. 浜四ツ屋
3. バイ貝の刺身
4. 読書



1. 上田 昌孝 (82)
2. 柳原
3. 肉、魚、くだもの
4. シャンソン



1. 岩城 晶巳 (73)
2. 追分
3. めん類
4. 名所、旧跡めぐり



1. 原 明 (72)
2. 宮窪
3. お米
4. ドライブ

議会構成が決定

一般選挙後初の議会となる「令和7年第2回臨時会」が12月1日に開催され、市議会を代表する議長の選出をはじめ、議会活動の体制が決まりました。

議長に竹原正人議員、副議長に青山幸生議員



竹原議長

最初に議長選挙を行い、指名推選により竹原正人議員が議長に当選。続いて新議長の議事進行により議席と会期の決定をしたのち、副議長の選挙を行い、指名推選により青山幸生議員が副議長に当選しました。

次に議会運営委員会と総務文教消防、産業厚生建設の各常任委員会の委員の選任を行いました。

続いて、議会報編集委員会及び広報広聴委員会の委員の選任を行いました。さらに、富山地区広域圏事務組合、滑川中新川地区広域情報事務組合、富山県東部消防組合の議会議員を選挙するとともに、都市計画審議会委員を推選し、臨時会を閉会としました。各委員会の構成については4・5ページに掲載しています。

市議会12月定例会は、12月9日から23日までの15日間の会期で開催しました。

審議した案件は、令和7年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案17件です。

審議の結果、市長提出議案の17件は原案どおり可決しました。

12月定例会

本会議

結果の報告がありました。

◇12月9日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長

提出議案13件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長などから議案の補足説明がありました。

◇16日、17日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問並びに提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の23日には本会議を開き、総務文教消防、産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査

最後に閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会しました。

次に、時代背景に伴う議員定数、処遇の改善並びに議会基本条例の調査研究のため、全議員で構成する「議員定数等検討特別委員会」の設置を決めました。

常任委員会での審査（主な質疑等）

各常任委員会への付託案件はP13をご覧ください。

■総務文教消防委員会

初めに付託された4議案及び追加議案として付託された2議案については、いずれも慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆議案第58号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

問 財政調整基金積立金及び公共施設整備基金積立金について、かなり大きな金額であるが、なぜこの金額となつたのか。

答 令和6年度の剩余金となるが、景気の上振れ等により税収入等が当初見込みより多かつたものである。

問 児童手当支給費について、積算に誤りがあったということだが具体的な内容は。

答 令和6年度中に対象者が高校生ま

で拡充され、支給回数が年3回から6回となつたが、拡充された高校生分の積算を3回の支給回数のまま積算していたものである。

■産業厚生建設委員会

初めに付託された10議案については、慎重審査の結果、賛成多数で、追加議案として付託された3議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆議案第58号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

問 診療所開設等支援補助金について、滑川市で足りない科、今後どうしても欲しい科が増えていけばいいと思うが、特定の科に偏らないよう精査していただきたい。どのように考えているのか。

答 始しまったばかりの事業のため現在は診療科に制限は設けていないが、今後、開設される診療科が偏るような場合は、その診療科については対象外とさせていただくこととなる。

問 診療所開設に係る補助金について、今回2件分の補正予算案が出された。医師が少なくなつていくなかで診療所が増えしていくことはいいこ

とだが、どこまで増やしていくのか。

目玉のような施策であるから、続け

ていかれると思うが、今年度の当初予算のように1件分を見て、もしまし出たときに補正されるのか、それとも今後、件数は限定するのか。

答 その医師が開業したい、既存の病院を辞めるタイミングもあるため、年度で何件という限定はしない。ただし、当初予算は市の予算全体のこともあるため1件とし、複数手が挙がった場合は今回のように補正対応したい。

問 診療所開設等支援補助金について、滑川市で足りない科、今後どうしても欲しい科が増えていけばいいと思うが、特定の科に偏らないよう精査していただきたい。どのように考えているのか。

答 始しまったばかりの事業のため現在は診療科に制限は設けていないが、今後、開設される診療科が偏るような場合は、その診療科については対象外とさせていただくこととなる。

◆議会運営委員会

(○委員長 ○副委員長)

議会の円滑な運営のために、議会の日程や議会に関する規則など、必要な事項について協議し、意見調整を行います。各会派や無会派の議員から、6名選ばれます。

議長はオブザーバーとして委員会に出席します。

◆議会報編集委員会

なめりかわ市議会だよりの編集を行います。

◎吉森 真人	○谷崎 潤一
高橋 正樹	青山 幸生
原 明	古沢 利之

◎吉森 真人	○谷崎 潤一
高橋 正樹	青山 幸生
高川 利之	藤田 紀子
古沢 利之	尾崎 照雄

新しい議会構成

ポイント

★常任委員会

市の業務は幅広く、多岐にわたるため、効率的に調査、審査を行うために、専門的な委員会を設置しています。総務文教消防、産業厚生建設の2つの常任委員会があり、議案や請願等の詳細な審査を行います。

◆総務文教消防委員会

市の業務のうち財政、防災、総合計画、教育、生涯学習などを所管しています。

◎大浦 豊貴 ○吉森 真人

高橋 悟 谷崎 潤一
藤田 紀子 青山 幸生

尾崎 照雄 原 明

◆産業厚生建設委員会

市の業務のうち道路、上下水道、福祉、市民生活、商工業、農林水産業、観光などを所管しています。

◎水橋 真治 ○高川 正樹
安達 真隆 竹原 正人
岩城 晶巳 上田 昌孝
古沢 利之

ポイント

★特別委員会

市政における重要な課題について調査研究するため、特別に設置されます。

◆議員定数等検討特別委員会

時代背景に伴う議員定数、待遇の改善並びに議会基本条例の調査研究のため設置しました。

◎青山 幸生 ○安達 真隆
高橋 悟 吉森 真人
谷崎 潤一 大浦 豊貴

尾崎 照雄 岩城 晶巳
大浦 豊貴 尾崎 照雄
谷崎 潤一 岩城 晶巳
上田 昌孝 上田 昌孝

◆広報広聴委員会

議会報告会の運営など、議会に関する情報発信を行います。

◎原 明 ○水橋 真治
安達 真隆 大浦 豊貴
青山 幸生 岩城 晶巳
上田 昌孝

◆各組合議会議員

・富山地区広域圏事務組合
竹原 正人 尾崎 照雄

・滑川中新川地区
谷崎 潤一

・富山県東部消防組合
大浦 豊貴 竹原 正人

・富山県東部消防組合
岩城 晶巳

・富山県市議会議長会
吉森 真人 安達 真隆

9月23日	12月定例会
23日	議会報編集委員会
25日	富山県東部消防組合議会 臨時会（魚津市）
9月16日	総務文教消防委員会協議会
23日	議会報編集委員会
9月23日	議会報編集委員会
23日	富山県市議会議長会 議員研修会（富山市）

日誌

7年11月

日誌

7日

埼玉県滑川町行政視察

17日

大規模地震に備えた防災ま

18日

ちづくりの推進に関する特

別委員会・意見交換会・現

地視察（東京都・愛知県）

19日

富山地区広域圏事務組合

20日

行政視察（三重県四日市市・愛知県名古屋市）

28日

全員協議会

一代一般表質問

12月定例会では13名の議員が質問を行い、56項目について市当局の見解を求めました。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに市立図書館に配付する予定です) ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



54321

富山地方鉄道本線維持に係る今後の方針について
有害鳥獣対策について
観光遊覧船キラリンの運航について
市民会館大ホールの建設について

(会派=会派自民) 原

明 議員



Q 令和8年度予算編成方針の具体的な取組について問う。

A 長崎産業民生部長

国

の

鳥

獣

被

害

防

止

総

合

対

策

付

金

を

活

用

し

お

り

、

熊

で

あ

れ

ば

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

鳥

獣

を

一

頭

に

つ

き

て

、

が具体的な政策を問う。

A 長崎産業民生部長

アンケート調査の結果を参考に、500から800席規模の各

料品の物価高騰に対して本市も迅速に対応していくと説明している

が具体的な政策を問う。

A 水野市長

重点支援地方交付金につ

いて、商品券やクーポンなど、食

料品の物価高騰に対しても本市も迅

速に対応していくと説明している

が具体的な政策を問う。

A 石川健康福祉部長

12月定例会で、診療所開業等

支援事業費6千862万円の補正予算

が計上されている。新規に開設す

る診療所2件の詳細は。

A 柿沢副市長

2件の新規

診療所開設の診療科目は、整形外

科と形成外科である。開業場所に

ついては現在調整中であるが、今

のところ浜加積地区、もう一件は

西加積地区である。

Q 国の重点支援地方交付金につ

いて、商品券やクーポンなど、食

料品の物価高騰に対しても本市も迅

速に対応していくと説明している

が具体的な政策を問う。

A 長崎産業民生部長

日計業務に

ついては従来は各種証明書発行枚

数と手数料収入の窓口に一定の時

間を要していたが、決済別にデ

タ集計できるため、精算職員の業

務効率の向上につながっている。

A 水野市長

重点支援地方交付金の活用につい

ては、様々な活用策

が具体的な政策を問う。

A 柿沢副市長

地域公共交通の利便性について

検討を進めているところである。

特に、エネルギー、食料品価格等

の物価高騰により経済的負担が大

きく、市民生活を支援するため、

商品券やクーポン券など市民全体

が恩恵を受けることが出来るよう

な支援策を案の一つとして考えて

いる。

A 柿沢副市長

跡地は、当面更地

にアスファルト舗装する予定とし

ている。その広い空間を活用し、

イベントの開催など実証実験を行

い、その中で利用者の声を聞きな

がら、周辺エリアのビジョン、基

本構想の作成に生かしていきたい。

Q 市民課窓口業務は、DXの推

進でセミセルフレジを導入してい

る。職員の業務効率の向上につな

がっているのか。

A 柿沢副市長

が具体的な政策を問う。

A 水野市長

なめりかわ 市議会だより

第221号 令和8年2月1日 (6)

富山地方法規本線維持に係る今後の方針について

有害鳥獣対策について

観光遊覧船キラリンの運航について

市民会館大ホールの建設について

Q 鳥獣被害対策実施隊員への報酬や熊の駆除に支援すべきと考えている。

A 水野市長

鳥獣被害対策実施隊員への報

酬や熊の駆除に支援すべきと考え

ている。

A 水野市長

鳥獣被害対策実施隊員への報

酬や熊の駆除に支援すべきと考え

一般質問



3 2 1

滑川市こども・子育て基本条例について
「光り輝く」まちに関する施策について
自転車について



一般質問



2 1

安心安全なまちづくりの推進と取組について
高齢者支援について



A 上田 教育長 満足するに至った背景と、市が目指す目的を問う。全国的に児童虐待、ヤングケアラー、子育て世帯の孤立など、子どもと子育て世帯を取り巻く環境が厳しさを増している。本市も同様な課題を抱えており、地域全体で子どもの健やかな成長と子育てを支えていくことが必要である。子どもにとつて大切な権利と、そして子育て支援に関する基本的事項を定め、未来を担う子どもたちの幸せな生活につながる条例を制定することで、本市が子どもと子育てを地域全体で支え合えるまちとなることが目的である。

Q 中学校空調設備整備事業について現状の進捗状況と、今後の学校ごとの工事スケジュールを問う。

A 高倉教育委員会事務局長 2校同時に全てを行い、本定例会の議決後、実施設計業務に係る指名競争入札を執行する。実施設計業務の委託期間は、約3か月を見込んでおり、納入後、空調設備の設置工事に係る一般競争入札を執行する。竣工及び供用開始の時期は、現時点で令和8年度の下半期となる。

A 小学校の体育館の空調はどのように考へておられるのか。

高倉教育委員会事務局長 令和8年度以降、各小学校の体育館に対しても空調設備の整備を進めいく予定としている。

Q 2026年4月1日から、16歳以上を対象に自転車の交通違反に対する、交通反則通告制度（青切符）が導入されるが、その内容は。

長崎産業民生部長 交通反則通告制度とは、一定の軽微な交通違反をした運転者に対し、車等と同様に青切符による反則告知を行い、各反則行為に定められた反則金の納付を通告するものである。主な反則行為と反則金は、スマートフォン等の使用、保持は1万2千円、遮断踏切立入りが7千円、信号無視が6千円等、全部で113種類の違反行為が対象となる。

Q 早月中旬では、自転車通学を全校生徒に対し許可しているが、滑川中学校でも同様にできないか。

高倉教育委員会事務局長 滑川中学校の生徒数は490名であり、駐輪可能台数は416台であることから、現時点で全生徒に対して自転車通学を許可することは難しい。

A 石川総務部長 市内自治会の自主防災組織は、平時から住民が災害に備えて自主的に訓練等の活動を行う任意団体で、一部の地域では複数の自治会が合同で自主防災組織を結成しているため、市に登録されている自主防災組織数は109件である。

Q 備蓄庫の増設の進捗状況と、市内施設の発電機の台数は。

A 石川総務部長 今年度整備する備蓄倉庫については、市農村環境改善センターの駐車場の一角に2基まとめて整備したいと考えている。また、現在入札を行い3月の完成に向け鋭意工事を進めている。発電機については現在3台所有している。国の交付金を活用し、新たに発電機を23台購入予定としており、主要な指定避難所に順次配置していきたい。

Q 災害後の仮設住宅建設予定地について問う。

A 石川総務部長 市の地域防災計画では、仮設住宅の建設候補地について、県の選定基準をベースとし、原則公有地であること、危険のない平坦な土地であること、給

排水や電気などのライフラインの整備が容易な土地を適地として考えてい。現時点では市スポーツ・健康の森公園、滑川運動公園小中学校グラウンドなどを仮設住宅の建設候補地として想定している。大規模災害発生時は建設候補地も被災する可能性もあり、被災状況や被災者の数なども十分確認しながら対応したい。

Q みんなの居場所 「ちよこ」と」の月間利用人数、男女比率を問う。

A 石川健康福祉部長 令和6年6月から7年3月までの平均月間利用人数は129人で、年代別では80代が35・8%、70代が49・8%、60代が10・1%、50代以下が3%で男女比は2対8である。令和7年度は4月から11月までの平均月間利用人数が181人、年代別では80代が35・4%、70代が42・1%、60代が6・2%、50代以下が13・9%で、男女比は6年と同様に2対8となっている。今年度は50代以下の利用が13・9%と利用年代も下がつている状況である。

その他の質問

・SDGs推進事業について

一般質問



54321

重点支援地方交付金について
ICT教育について
日体大との協定締結について
市民生委員について
市民後見人制度について

尾崎照雄議員



一般質問



4321

水野市政について
安心して眠れるまち滑川に
介護について
福祉村を提案

上田昌孝議員



Q 重点支援地方交付金の活用方針と、市民へ支援が届く時期はいつか。

A 水野市長 本市においては、県と協調した教育、保育施設や障害福祉施設、介護保険サービス事業者等への食料費や光熱費等の支援に加えて、物価高騰の長期化による市民生活の経済的負担を緩和するための支援を検討している。できるだけ早期に実施したい。

Q 教職員のICT活用指導力向上に関する研修の受講割合がなぜ低くなっているのか。

A 高倉教育委員会事務局長 様々な研修に参加しなくても、授業で活用できる教員が増えてきていることや、校内における伝達講習を個別に実施している学校があることなどから、受講割合が低いものと考えられる。

Q 今月12月5日に、日体大との間で、体育・スポーツ振興に関する協定が締結された。この協定に市長が期待するものは何か。

A 水野市長 このたびの連携協定締結によって、日体大ならではの専門的な知識や助言をいただきたいと考えている。滑川市独自の取

Q 民生委員協力員制度の導入を検討してはどうか。

A 石川健康福祉部長 民生委員協力員制度の導入については、導入している自治体の民生委員児童委員から評価する声も上がっているが、まずはそもそも民生委員児童委員の確保策について他自治体の事例を検討してまいりたい。

Q 市民後見人制度の活用促進に向けた本市の取組状況と、今後の方針について問う。

A 石川健康福祉部長 昨年度より近隣市町と話し合いを重ね、今年度、合同での養成講座開催に至った。講座の受講のみでは、市民後見人として家庭裁判所から選任を受けることはできない。まず今後は、講座の受講のみでは、市民後見人権利擁護に関わる支援員として活動して経験を重ねられるよう、選動への体制を構築してまいりたい。

Q DXを進める上で、各部署でどのような取組をしているのか。

A 水野市長 DX推進課をつくり今までどの体制で回している。各課での業務に関してデジタルを活用して、もつと市民が便利になるような政策がないのかをDX推進課から発信をして、DX推進課と担当課で話をしながら少しづつ市民が便利になるような政策を開拓していくところである。まずは今後は、協定に基づき、少しづつ施設の統合をしていくため公共施設を新たに建設するのは難しい。その中で職員の連携を高めて、社会福祉協議会とも常に連携を取り合うなど、体制を強めている。

Q 社会は急速なスピードでDXが推進されている。それを提案された市長に賛辞を送りたいと思うが、市民に理解されないところに問題がある。しっかりと市民が理解する政策推進をやってもらいたい。

A 水野市長 PRがなかなかうまくいかないと理解をしている。誰一人取り残さない包摵的な地域社会の構築を目指していきたい。言わわれたとおり、市民の皆様全員に分かりやすい情報発信に努め、このDXを推進していきたい。

Q DXを進める上で、各部署でどのような取組をしているのか。

A 石川健康福祉部長 キラピカ体操シユーチュアル俱楽部を広めており、各町内のほか、みんなの居場所「ちよこつど」でも体操を続けている。民間企業で、いきいき元気クラブという健康づくりを中心としたディサービスなどを活用しながら、

Q 福祉村をつくり、ワンストップで福祉のことは全てカバーできるまちにしてはどうか。

A 石川健康福祉部長 公共施設改編計画に基づき、少しづつ施設の統合をしていくため公共施設を新たに建設するのは難しい。その中で職員の連携を高めて、社会福祉協議会とも常に連携を取り合うなど、体制を強めている。

一般質問



5 4 3 2 1

通子育て支援について 整備について
コミュニティ・スクールについて
民間運営の放課後児童クラブへの支援について
滑川市プレミアム商品券について

一般質問



滑川市上下水道事業について

Q 新生児紙おむつ購入券の対象を3歳児まで広げられないか。

Q 新生児紙おむつ購入券の対象を3歳児まで広げられないか。

A 石川健康福祉部長 新生児紙おむつ購入券の発行対象者を広げる予定はないが、ほかにも新生児の聴力検査の助成など様々なことをしており、いろいろ支援ができるよう努めてまいります。

ている。今後の方針や学校行事については最後の運営協議会で話し合う予定としている。

Q 本市では、消費税率の改定によるものを除いて平成8年に上下水道、平成24年に下水道の料金改定を行つて以降、料金改定は実施されていない。2月の滑川市長選挙において、水野市長は持続的な上下水道事業を目指すため、公約として本市の上下水道使用料の料金

でも、今後適切な料金、使用料の設定の在り方について、市民との対話の機会が必要であると考えている。

A 毎年、通学路の危険箇所の点検を行っているがその整備状況を問う。

児童健全育成事業を実施している事業者には委託料を支払っている経費となる範囲には、支援員の賃金、交通費、消耗品費、事務費な

A 水野市長 改定を市民に問うことがあるのか
本市の水道料金に関する現状、県内で最も安い状況として、ある。令和8年4月に富山市の料金改定が実施される。

A 北島建設部長 物価高騰もあり、下水道事業の運営に係る経費も年々増加の一途をたどっている。実質、本筋の下水道事業は、料金

ルゾーン標識の設置や白線の引き直し、横断歩道内部への赤色の力マー舗装及び路側帯へのグリーンベルトの設置、横断旗の設置、河川や用水への転落防止柵の設置、減速などを促す道路標示などといった道路環境の整備を行ってきたところである。

どがあり、民設民営事業者には公設の事業者に比べ事務費を上乗せず支払っているが、事業の実施に協力的な事業者であることから今後も継続して必要な支援について協議していきたい。

の料金、使用料が改定されるので、水道料金、下水道使用料を合わせた金額でも最も安くなる。こうした料金、使用料設定が、快適な市民生活や旺盛な企業活動の下支えの一助になつてゐるものと考へてゐる。しかしながら、人口減少に伴う料金、使用料収入の減少や資産の更新、改築需要による減

本市の下水道事業は、料金基準の妥当性を示す経費回収率が令和4年、5年度は100%で推移していたが、令和6年度では、物価高騰に伴う経費の上振れなどが影響し、100%を割り込んでいる。また、100%で推移していた時期も、総務省の繰出基準を超える額の一般会計繰入金を約2億円必要とし

A 上田 教育長 各小中学校のコミュニケーション・スクール、学校運営協議会で、それぞれどのような話合いがされているのかという情報交換会を2月か3月に持つこととし、年間行事を決める早い段階から地域の代表者に入つていただき、話を合われたほうがいいのではないか

A 長崎産業民生部長 プレミアム
多くの方が恩恵を受けるような方法に見直すことはできないか
付き商品券発行事業は滑川商工会議所が何度も何度か実施しているが、より効果的な販売方法や提案があれば、商工会議所と情報の共有をし検討していただきたいと考えてい
る。

価償却費 支払利息等の増加 物価高騰による経費の増加など、上下水道をめぐる課題も山積している。こうしたことから、市民生活に過度の負担を強いる急激な増額は避けつつも、水道・下水道施設の老朽化対策を含め、安心・安全な上下水道事業を続けていくためにも、あえて公約には掲げないま

ており 基準外の一般会計繰入金を解消するには、使用料値上げが必要であるが、急激な値上げは市民生活を圧迫してしまうことから、上下水道事業経営委員会などを通じ、有識者や市民の意見を伺いながら、現実的な使用料の設定について検討していきたい。

一般質問



4321

職員のプロジェクトチームについて
姉妹都市交流について
家庭ごみの有料化について
小中学校のグラウンドについて

高川正樹議員



一般質問



4321

行政評価に基づいた予算編成について
市基幹系システムの標準化について
福祉について
教育について

水橋真治議員



Q プロジェクトチームはどのような職員で構成し、いつまでに、どのような成果を上げることを目指としているのか。

A 石川総務部長 ベイエリア再整備検討チーム、テニス村再整備検討チーム、小諸市交流促進チームが活動している。組織の体制は異なるが、部長級から主事級まで、幅広い職員で構成されている。グループごとに整備構想の素案や交流の成果を、関係部署職員向けのプレゼンテーションや報告会等の方法で、年度末までに報告する。

Q 小諸市との職員間の交流や研修が進められているが、どのように活動が行われているか。

A 石川総務部長 姉妹都市交流による職員同士のつながりと学びの創出をテーマに、8月に小諸市で開催された市民まつりドカンショニ6名の職員が参加して地域住民主体の行事に触れ、地域に根差したまちづくりの姿勢や創意工夫を体験した。11月には小諸市から5名の職員が訪問し、市内企業の取組や事業展開を視察するとともに、博物館等における展示を通じて本市の歴史、文化、特色を学んだ。

Q 富山市では家庭ごみの有料化について議論されており、報道には滑川市と舟橋村が足並みをそろえるか検討しているとあったが、どのような検討をしているのか。

A 長崎産業民生部長 滑川市ゼロカーボンシティ宣言を表明し、また滑川市地球温暖化対策実行計画を策定し、ごみの減量化・資源化の促進を図っている。既に有料化制度を導入した自治体では、処理手数料の水準にもよるが、一定の減量の効果が見られている。これらを踏まえ既に実施している他自治体の状況等を見ながら、市民との意見交換会等を開催するなど、対話を通して判断したい。

Q 小中学校のグラウンドの今後の改修計画はどうなっているか。

A 高倉教育委員会事務局長 全面的な改修がされていない北加積小学校、東加積小学校のグラウンドの一部で排水能力の低下が見られる。最終整備年度から年数がたつていて就労を希望される場合は、障害者就業・生活支援センターやハローワークと連携を図りながら、就労への支援を行っている。就労に向けた訓練等を希望される場合には、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を一定期間行う就労移行支援の情報提供を行っている。

Q 今後、マイナンバーを基盤として、政府は個人情報の一元管理を行いやすくなると考えられる。そのリスクを市としてはどのように認識しているのか。

A 石川総務部長 システム標準化後は、国が定めるより強固なセキュリティ要件を満たすクラウド基盤の上でシステム運用を行う予定である。マイナンバーは法令、条例で定めた事務のみで利用するこ

とから、システム基盤の状況によって個人情報の一元管理につながるものではないと認識している。

Q 事業の無駄の削減と財源の捻出を行うための政策評価、事業評価の課題は何か。

A 柿沢副市長 政策や事業の進捗状況や見直しを主な目的として実施するが、洗い出された課題は無駄を減らすことだけが目的ではなく、新たに予算を計上し、よりよく改善するもの、新たな付加価値を生み出すものも含まれていると理解している。課題は、政策評価の実際の協議を行っている幹部経営会議をより充実させ、議論がさらに深まる場とするのである。また、市役所の職員の皆さんに、この行政経営システム及び評価制度の理解を広げ、各種評価の精度を向上させていくことである。

Q 市内各小中学校ではどのようにキャリア教育が行われているのか。

A 上田教育長 児童・生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力の育成を目指している。具体的には人間関係形成能力、社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を育成することであり、起業家の資質も含まれていると考えている。

一般質問



4321

まちなかの空き家、空き地対策について
在宅障がい者の雇用促進について
就職氷河期世代の雇用促進について
放課後児童クラブについて

藤田紀子議員



A 長崎産業民生部長

Q 空き家、空き地の有効活用と管理を進める活動としてコンビニエンスストアやドラッグストアといった企業誘致の取組を問う。

A 北島建設部長

Q 旧国道沿いの空き家、空き地の総数等の実態を問う。

A 北島建設部長

Q 市として空き家、空き地の所有者と解体後更地にする、あるいは賃貸契約し再利用するといった交渉が可能か問う。

A 北島建設部長

Q 危険な空き家所有者には市から70万円の解体補助制度を説明し、解体を促進してきた。旧町部の区域で危険老朽空き家の所有者から建物及び土地の寄附があれば、除去後の土地を町内会で維持管理されること等を条件に市で除却する。利活用については滑川市空き家・空き地情報バンクへの登録を促すばかりフォームを希望すれば県や市から補助金が出る。さらに毎月空き家相談会を実施し、市内の不動産業者や有資格の方々から成るなめりかわ街づくり協議会を紹介している。

A 高倉教育委員会事務局長

Q NTTの建物を放課後児童クラブや災害時の近隣住民の避難場所として活用するため、取得にむけてNTTと交渉できなかいか。

A 高倉教育委員会事務局長

Q 不動産登記法が改正され、相続登記が義務化した。市道の所有者が個人及び法人になつているものの所在について、市の見解はどうか。

Q 旧国道沿いの空き家、空き地の総数等の実態を問う。

A 北島建設部長

Q 滑川東部地区で319件である。市内全体で819件、

A 北島建設部長

Q 市として空き家、空き地の所有者と解体後更地にする、あるいは賃貸契約し再利用するといった交渉が可能か問う。

A 北島建設部長

Q 危険な空き家所有者には市から70万円の解体補助制度を説明し、解体を促進してきた。旧町部の区域で危険老朽空き家の所有者から建物及び土地の寄附があれば、除去後の土地を町内会で維持管理されること等を条件に市で除却する。利活用については滑川市空き家・空き地情報バンクへの登録を促すばかりフォームを希望すれば県や市から補助金が出る。さらに毎月空き家相談会を実施し、市内の不動産業者や有資格の方々から成るなめりかわ街づくり協議会を紹介している。

A 高倉教育委員会事務局長

Q NTTの建物を放課後児童クラブや災害時の近隣住民の避難場所として活用するため、取得にむけてNTTと交渉できなかいか。

A 高倉教育委員会事務局長

Q 不動産登記法が改正され、相続登記が義務化した。市道の所有者が個人及び法人になつているものの所在について、市の見解はどうか。

Q 地を活用した小売業や飲食業等の創業支援事業を実施している。

A 石川健康福祉部長

Q 障がい者の職業訓練機能を備えた企業への雇用実績を問う。

A 石川健康福祉部長

Q 31日時点での就労移行支援利用者は12名、就労継続支援A型利用者が50名、B型利用者が107名で、令和7年4月から現在まで7名が一般就労に移行している。

A 長崎産業民生部長

Q 就職氷河期世代の人々の雇用促進について市の取組を問う。

A 長崎産業民生部長

Q 正規雇用に就くには新しいスキルを習得することが重要である。市では40歳以上65歳未満の離職者または転職希望者が公立の職業訓練施設に入校された場合、その課程を修了するまでの期間に応じて奨励金制度を設けている。

A 長崎産業民生部長

Q 海上運送法の改正に伴い、人員が足りない状況だ。法改正に間に合うような人員体制になつていないと考える。しっかりとチーフム作りが必要だが見解は。

A 長崎産業民生部長

Q 人員の補充については、海上観光、またクルージングを行つていく上で非常に重要なことだと思っている。できる限り、ウェーブ滑川とも協議しながら、人員の補充に努めていく。

A 高倉教育委員会事務局長

Q 日本PTA全国協議会及び富山県PTA連合会から仮に脱退する限り、ウェーブ滑川とも協議しながら、小中学校が現れた場合、どのように対応をするのか。

A 高倉教育委員会事務局長

Q PTA組織の考え方として、学校単位で国や県の組織から脱退できるものではないと認識している。学校、保護者、地域など、それぞれの立場の意見を尊重しながら、できる限りのサポートを行いたいと考えている。

一般質問



321

海上観光について
法整備と実務の矛盾について
持続可能なPTAについて

青山幸生議員



Q 今定例会でキラリンのエンジン修理で227万円の予算がついている。修理の内容はどうか。

A 北島建設部長

Q 現在の不具合については、エンジン内部で気密性が損なわれていることにより冷却水漏れが発生し、エンジンをうまく冷却できないということが原因と見ていている。今回の修理についてはこの気密性に必要なガスケット（パッキン）の交換が目的だ。

A 北島建設部長

Q 海上運送法の改正に伴い、人員が足りない状況だ。法改正に間に合うような人員体制になつていないと考える。しっかりとチーフム作りが必要だが見解は。

A 長崎産業民生部長

Q 人員の補充については、海上観光、またクルージングを行つていく上で非常に重要なことだと思っている。できる限り、ウェーブ滑川とも協議しながら、小中学校が現れた場合、どのように対応をするのか。

A 高倉教育委員会事務局長

Q PTA組織の考え方として、学校単位で国や県の組織から脱退できるものではないと認識している。学校、保護者、地域など、それぞれの立場の意見を尊重しながら、できる限りのサポートを行いたいと考えている。

一般質問



21

富山地鉄本線について
加齢性難聴対策としての補聴器購入助成制度の改善について

古沢利之 議員



Q 富山地鉄本線早月川橋梁の架け替えに、30億から85億円かかるとの推計を滑川市が発表した。滑川市が推計すべき事案だったのか。地鉄も補修、補強をしてきたと思うが、確認したのか。

A 水野市長 地鉄では、自社点検は隔年、専門業者による点検は3年ごとに実施とのことだった。早月川橋梁は89年が経過している。中長期的には架け替えが必要になると思う。金額は全国のホームページと全国事例を参考に、大まかな数字として本市から発信した。

Q 数字が独り歩きしている。滑川市の負担が30億から85億と受け取られている。橋梁だから全線にわたる話だ。全線でどう負担するかという話ではないのか。

A 水野市長 そのとおりだ。滑川市の負担という話はしていない。慎重に説明したい。

Q 「あいの風とやま鉄道」を交えた議論が必要と語られたとのことだ。地鉄線への乗り入れは、富山駅の高架化によつて、「渡り線」が撤去されて現状では困難といふ。どこかで「渡り線」が必要だ。「新魚津から東側」が話題に

地鉄では、自社点検は隔年、専門業者による点検は3年ごとに実施とのことだった。早月川橋梁は89年が経過している。中長期的には架け替えが必要になると思う。金額は全国のホームページと全国事例を参考に、大まかな数字として本市から発信した。

A 水野市長 口一カル鉄道の再構築事業を視野に入れても、利便性の向上策が課題になる。どう考えているか。

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成は全国で520以上の自治体に広がっている。本市の制度の趣旨は、「中高年齢者の補聴器の装用を促進し、(中略)認知症及びうつ病等の発症リスクを低減させるため」としている。6月議会で、これまでの実績状況では趣旨の達成は難しいと答弁された。制度の改善が必要ではないか。

A 石川健康福祉部長 指摘のとおり制度創設時に想定した利用状況に達していない。他自治体の取組状況等も踏まえ、内容の見直しと制度の周知に努めたい。

Q 「こども・子育て基本条例」に関連して

なるが、並行区間の廃止を前提にしているのか。

A 水野市長 廃止を前提とは一言も言つていらない。仮に廃線になるなら「あいの風」との協議も選択肢ではないかと言つていい。

要望書

件名及び提出者

処理結果

要望書(4件)

1 令和8年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

..... 全議員へ参考配付

公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

2 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

..... 全議員へ参考配付

一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇

3 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情

..... 全議員へ参考配付

一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章

4 令和8年度滑川市行政施策に対する要望について

..... 全議員へ参考配付

滑川商工会議所 会頭 星名 照彦

議案の審議結果

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。
※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第58号	令和7年度滑川市一般会計補正予算(第3号)	総産	原案可決
議案第59号	令和7年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第60号	令和7年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第61号	令和7年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第62号	令和7年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第63号	令和7年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第64号	滑川市こども・子育て基本条例の制定について	総	原案可決
議案第65号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第66号	滑川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第67号	滑川市農村研修センター条例を廃止する条例の制定について	産	原案可決
議案第68号	動産の取得について	産	原案可決
議案第69号	中滑川複合施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第70号	滑川海浜公園の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第71号	令和7年度滑川市一般会計補正予算(第4号)	総産	原案可決
議案第72号	令和7年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	産	原案可決
議案第73号	令和7年度滑川市水道事業会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第74号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決

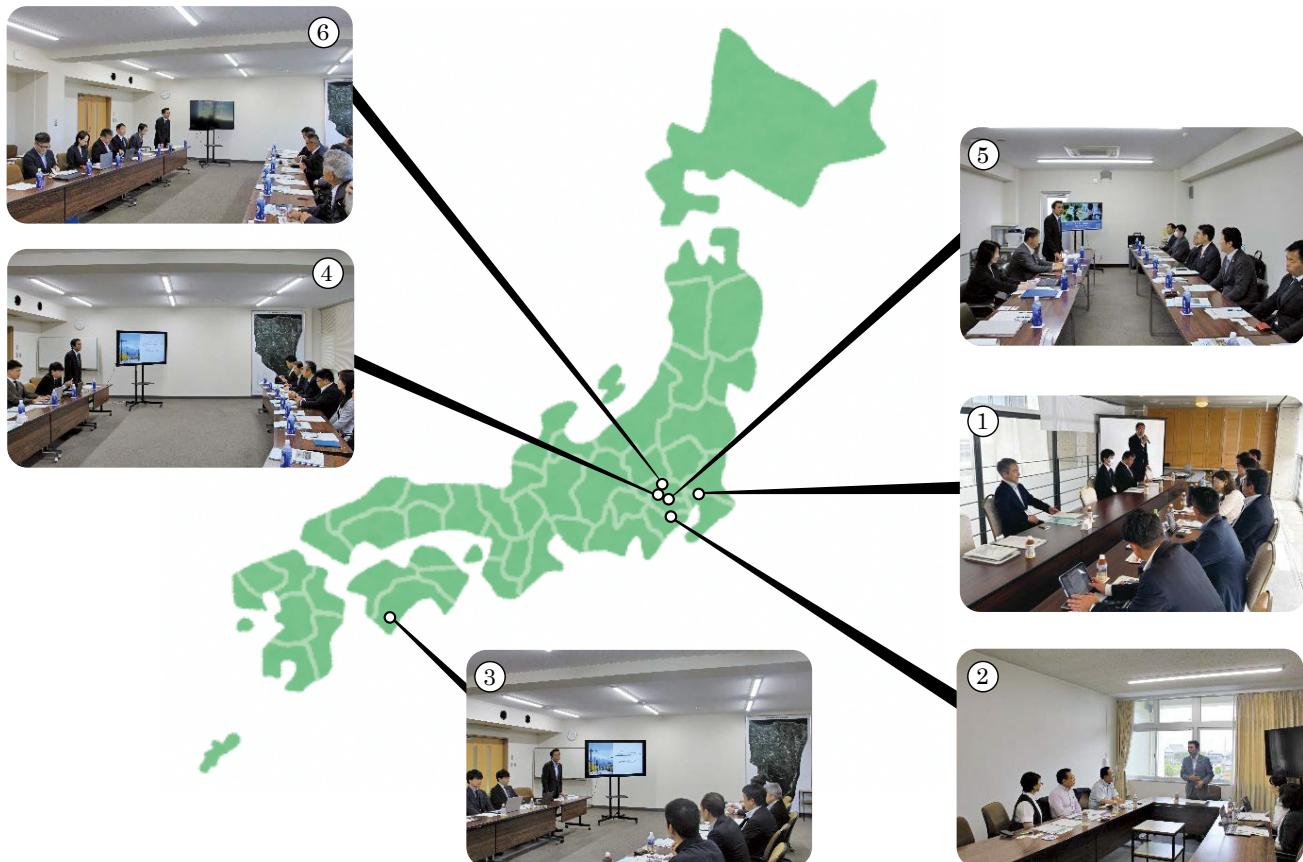
12月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。

3月定例会が下記の予定で開催されます

日	時間	摘要
2月27日(金)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
3月2日(月)	10時	補足説明
9日(月)	10時	代表、一般質問
10日(火)	10時	一般質問
11日(水)～13日(金)	10時	予算特別委員会 ※12日(木)は13時30分～
16日(月)	10時	総務文教消防委員会
17日(火)	13時30分	産業厚生建設委員会
19日(木)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

行政視察の受け入れを行いました

本市議会では、全国の議会関係者の皆さまからの行政視察の受け入れを行っており、令和7年4月から12月までに6つの議会関係者が滑川市にお越しになりました。受け入れを行った議会及び視察内容は以下のとおりです。



	視察日	議会名	視察内容
①	5月15日	千葉県我孫子市議会	ホタルイカを活用した観光振興について
②	8月5日	神奈川県大和市議会	共創ポイント事業について
③	10月16日	高知県四万十市議会	公民連携課・まちなか住宅取得支援事業について
④	10月21日	埼玉県飯能市議会	公民連携事業の取組について
⑤	10月22日	東京都東大和市議会	学力向上への取組について
⑥	11月7日	埼玉県滑川町議会	観光振興について、子育て支援について



「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。電話 475-2120
【議会報編集委員】
吉森 真人 委員長
谷崎 潤一 副委員長
高橋 悟 委員
藤田 紀子 委員
高川 正樹 委員
尾崎 照雄 委員
古沢 利之 委員
委員

議会改選に伴い新しいメンバーワークで議会だよりを作成することとなりました。よろしくお願ひします。

議会報編集委員会から